

令和6年度
刈谷市立小垣江東小学校

学校評価アンケート

児童結果（％）	P 2
保護者結果（％）	P 3
教職員結果（％）	P 4
3年間比較（児童）	P 5～8
3年間比較（保護者）	P 9～12
3年間比較（教職員）	P 13～16
まとめ	P 17

令和6年度学校評価アンケート 結果 児童

児童用	問1	問2	問3	問4	問5	問6	問7	問8	問9	問10	問11	問12	問13
項目	「じぶんがとうわりのことにばでつたえの気持ちる。」	自分にはよいところがあると思う	自分には、ときよくかでのじゆうに、いつもし	東小は、「ふれあい」でみんなとな	東小の「他の学校ではよい学校だ。」	東小は、よくすごくなるべし学校だ。学校の子どもたちもなか	自分には、毎日、学校に来るのが楽しい。	自分の学年は、発言や話し合いをしやすいふ	先生は、分かりやすく教えてくれると思う。	先生は、いろいろな生活	自分では、体育の授業が上手いかなど	先生は、いろいろな授業が上手いかなど	先生は、自分のよきところをみつけてあげたい。
1 あてはまる（そう思う）	60%	58%	42%	87%	80%	72%	50%	51%	76%	47%	55%	64%	70%
2 どちらかといえば、あてはまる（まあまあそう思う）	36%	31%	46%	11%	17%	24%	38%	41%	20%	41%	27%	23%	25%
3 どちらかといえば、あてはまらない（あまりそう思わない）	2%	5%	10%	1%	1%	2%	7%	5%	2%	8%	12%	5%	2%
4 あてはまらない（そう思わない）	0%	2%	1%	0%	0%	0%	1%	0%	1%	1%	3%	0%	0%
5 分からない	2%	4%	1%	0%	1%	2%	3%	3%	1%	3%	2%	8%	3%
1+2（肯定的）	96%	89%	88%	99%	98%	96%	88%	92%	96%	88%	82%	87%	94%

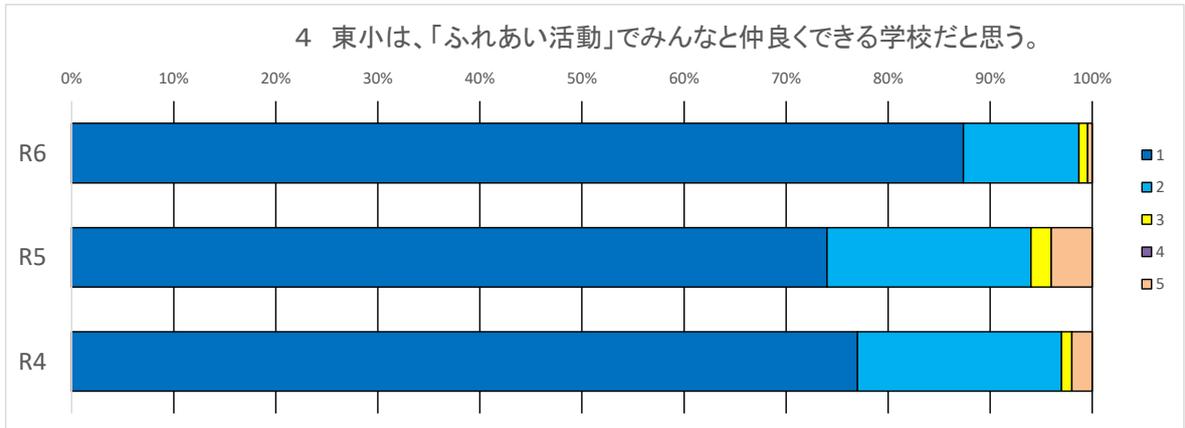
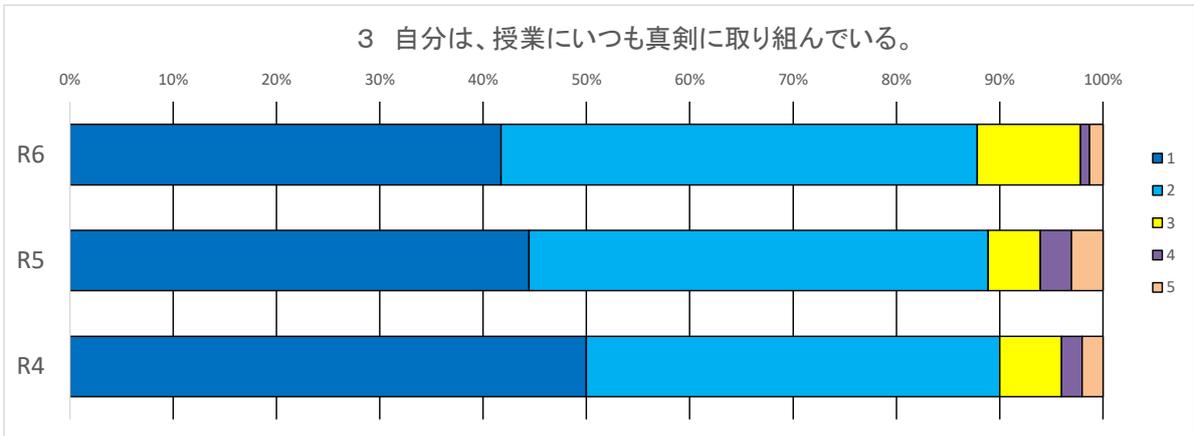
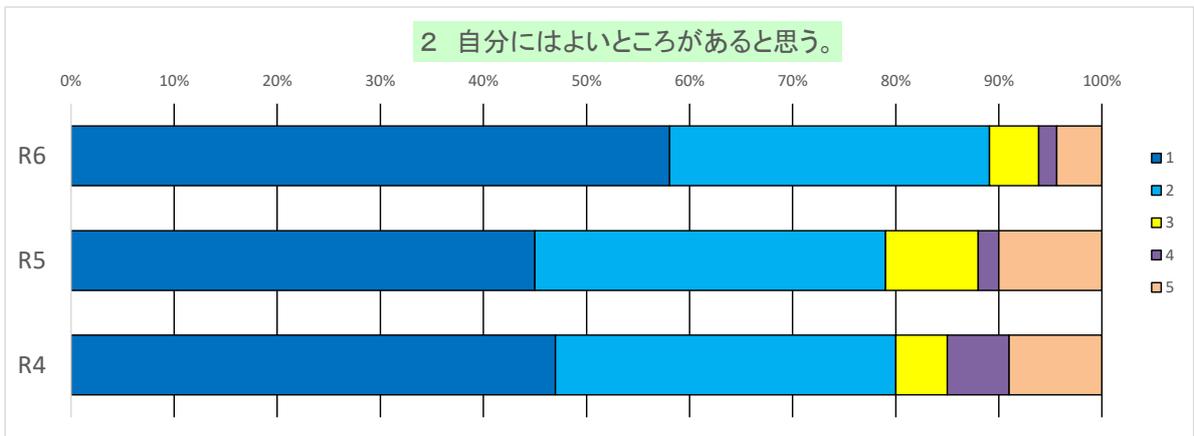
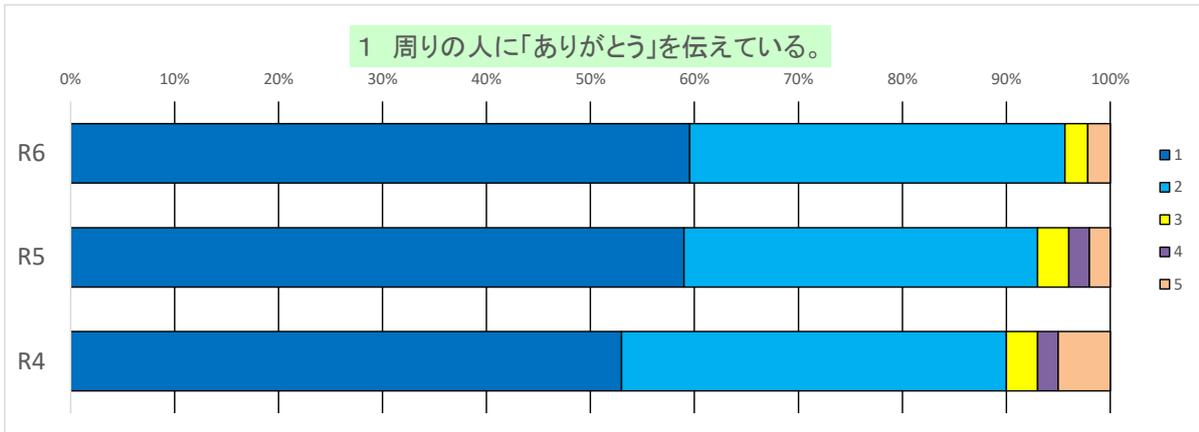
令和6年度学校評価アンケート 結果 保護者

保護者用	問1	問2	問3	問4	問5	問6	問7	問8	問9	問10	問11	問12	問13
項目	「子どもたちが、この周りで伝えている気持ちを	よき子どもたち、お互いに認め合ったり、自分の	子どもたち、学習に意欲的に取り組んでい	も学校が進められているふに適切な活動」である。ど	て学校の地域と緑化活動は、命を尊ぶ心を育	し個性を尊重し、共に生きるとの連携は適	学学校の様子が、伝わらない。通して、	学級職員は、子どもたちを温かい	め教職員は、分りやすい授業となるように努	たれおた食事をして、規則正しい生活や健康に気を付け	うすおとさん、は、進んで体を動かしたり、外遊びを	力ど教員は、いっしょに、子どもの成長に、士気も高めな	い教員は、子どもたちのよいところを認めて
1 あてはまる（そう思う）	44%	33%	31%	71%	81%	61%	43%	48%	50%	24%	47%	38%	61%
2 どちらかといえば、あてはまる（まあまあそう思う）	54%	59%	57%	24%	18%	32%	52%	37%	34%	58%	38%	38%	30%
3 どちらかといえば、あてはまらない（あまりそう思わない）	2%	3%	7%	2%	1%	1%	2%	3%	3%	16%	8%	4%	3%
4 あてはまらない（そう思わない）	0%	1%	3%	0%	0%	1%	1%	2%	1%	3%	3%	4%	1%
5 分からない	0%	4%	3%	3%	0%	6%	3%	11%	13%	0%	4%	16%	6%
1+2（肯定的）	98%	92%	88%	95%	99%	93%	94%	85%	84%	82%	85%	76%	91%

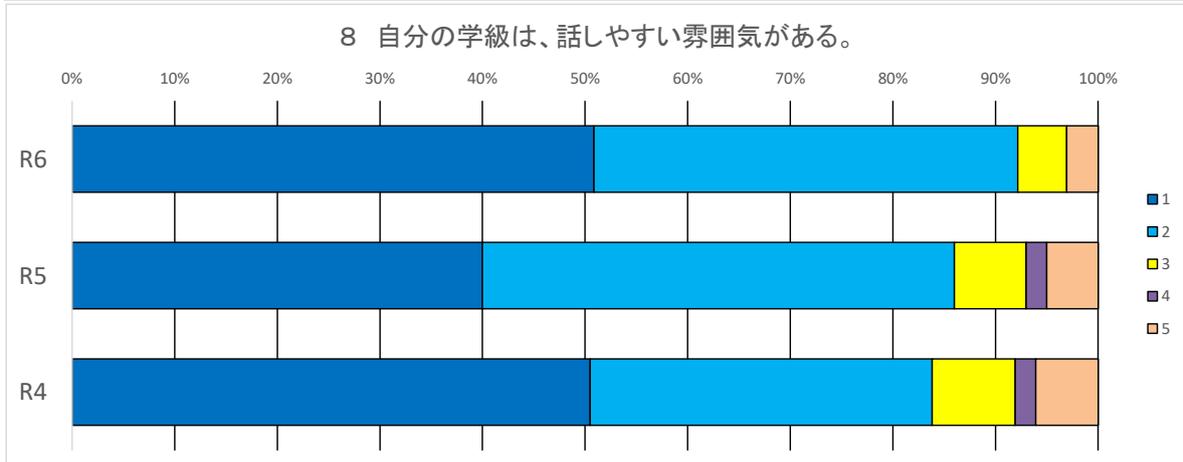
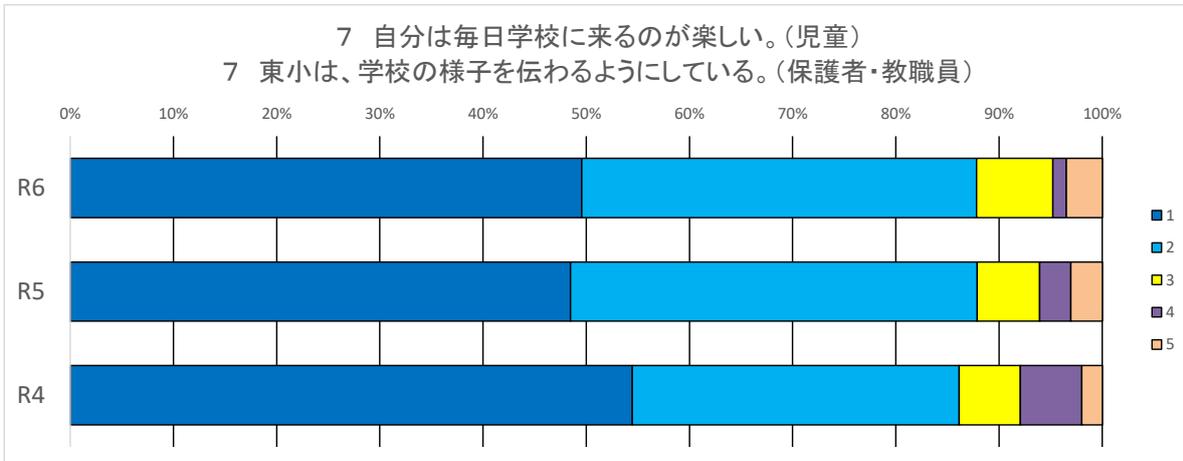
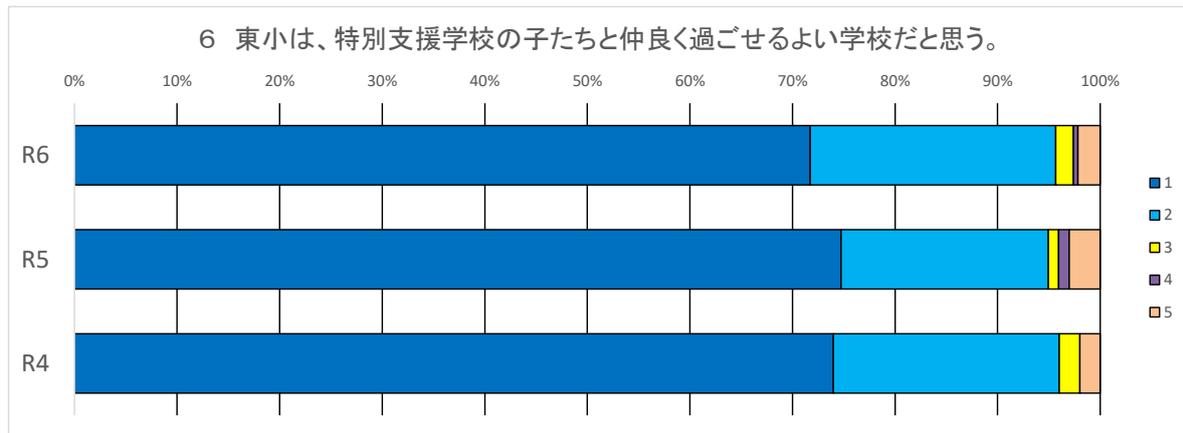
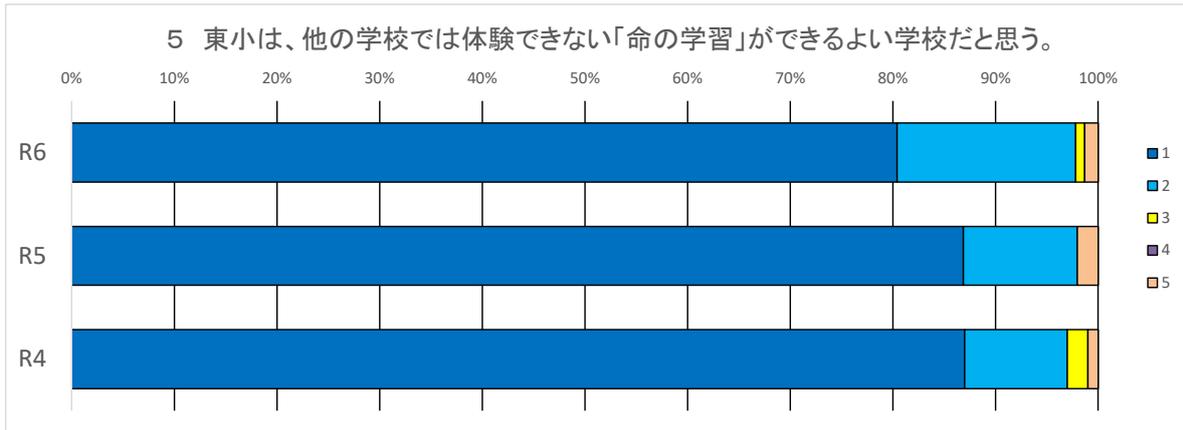
令和6年度学校評価アンケート 結果 職員

職員用	問1	問2	問3	問4	問5	問6	問7	問8	問9	問10	問11	問12	問13
項目	校東 を小 つは く、 る「 よあ うり 努が めと てう い」 がと あふ いれ まる す学 か級 。や 学	とりあ 思、な い自た ますの、 かよ東 。い小 この児 ろ童 をが 自互 覚いを た認 りめ し合 てつ いた る	組あ んな でた いは 、と東 思小 いの ま児 す童 がが 。学 習に 意欲 的に 取り	だ動あ と「な 思がた い、は ま子、 すど東 かも小 。のが 心進 をめ 育て るる の「 にふ 適れ しあ たい 活活 動	か尊「あ 。ぶホな 心タた をルは、 育て子学 る牛校 ののが に飼地 適育域 し「と たやと 活緑も 動化に だ活繼 と動続 思はし い、て ま命い すをる	てのあ る連な にはは 適、、 し個東 た性小 活をが 動尊進 だ重め として 思、い 共る まに特 生別 かき支 。る援 心学 を校 育と	とう東 思に小 い、は ます庭 か。適 切学 な校 連絡 の様 子が よく 分 てか いる よ	努あ めな てた いは ま、 す発 か。言 しや すい 温か い学 級づ くり に	かやあ 。分な かたは りは や、 す基 い礎 授・基 業本 くの り定 に着 努を めめ てぎ いし また す取 組	てど東 いを小 る行は とい、 思、規 い児則 ま童正 す生し か。の生 健康 増食 進に たす める に指 導努 めな	とかや東 思し長小 い、放は ま体課、 す力に児 か。を外童 高遊の めび体 るを力 機す向 会る上 のな 確どた 保、め に進に 努ん、 めで体 て体育 いを授 る動業	決どあ しがな よあた うっは とた、 しとい てきじ い、め ま迅や す速子 かかど 。つも 積同 極士の にも 動的 いご と解な	用人あ 感のな を活た 抱動は けの、 る場児 よを童 う作の 指りよ 導、い に児と 努童こ めがろ て自を い己認 ま肯め す定、 か感一 。や人 有一
1 あてはまる（そう思う）	81%	63%	50%	81%	75%	38%	56%	56%	75%	56%	38%	88%	88%
2 どちらかといえば、あてはまる（まあまあそう思う）	19%	38%	44%	19%	25%	50%	44%	38%	25%	38%	50%	13%	13%
3 どちらかといえば、あてはまらない（あまりそう思わない）	0%	0%	6%	0%	0%	6%	0%	0%	0%	6%	6%	0%	0%
4 あてはまらない（そう思わない）	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
5 分からない	0%	0%	0%	0%	0%	6%	0%	6%	0%	0%	6%	0%	0%
1+2（肯定的）	100%	100%	94%	100%	100%	88%	100%	94%	100%	94%	88%	100%	100%

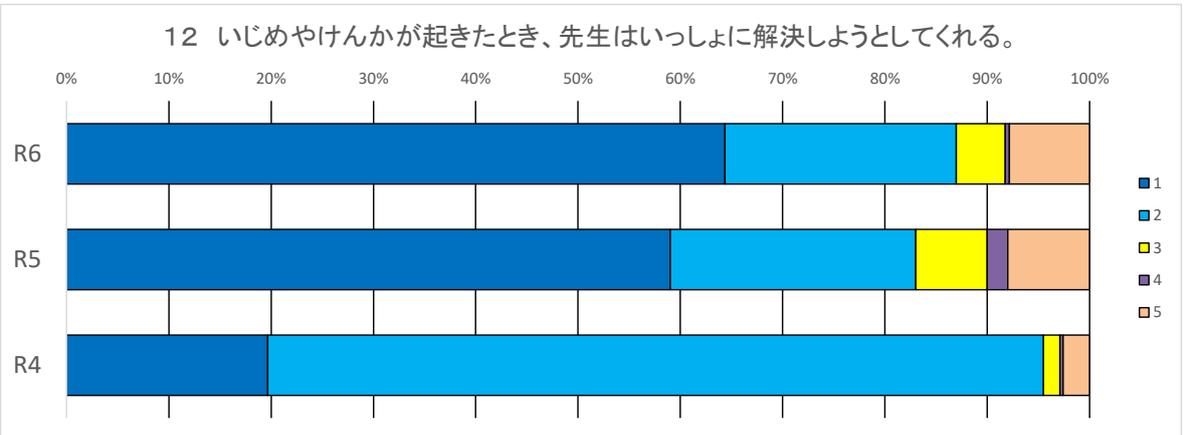
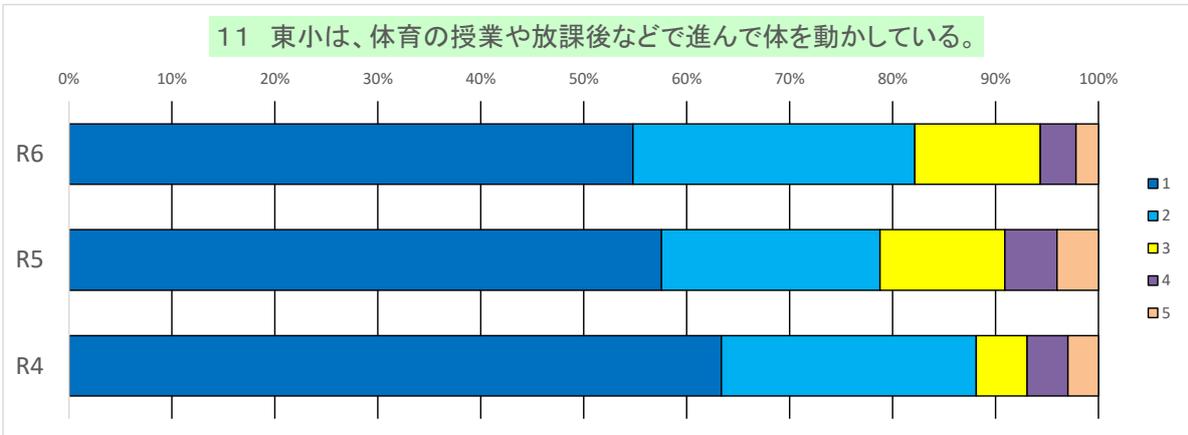
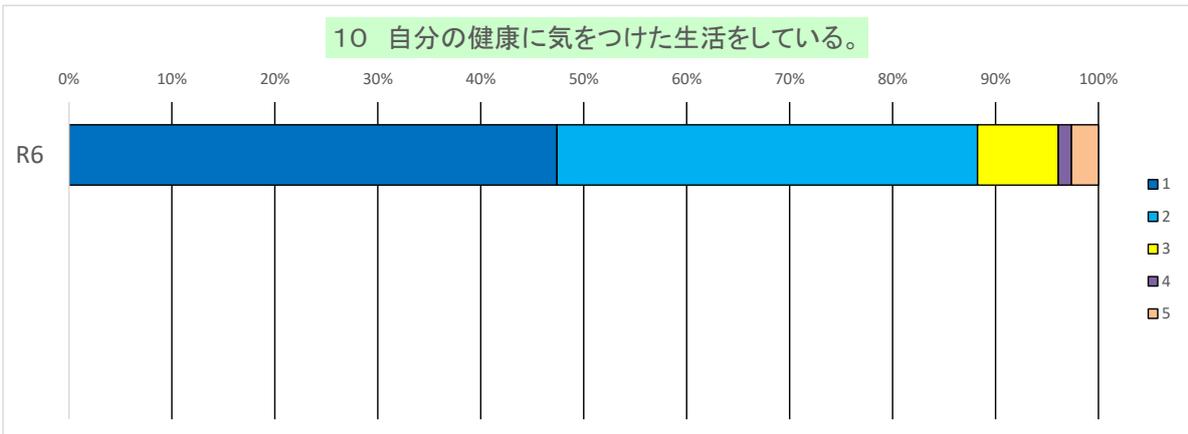
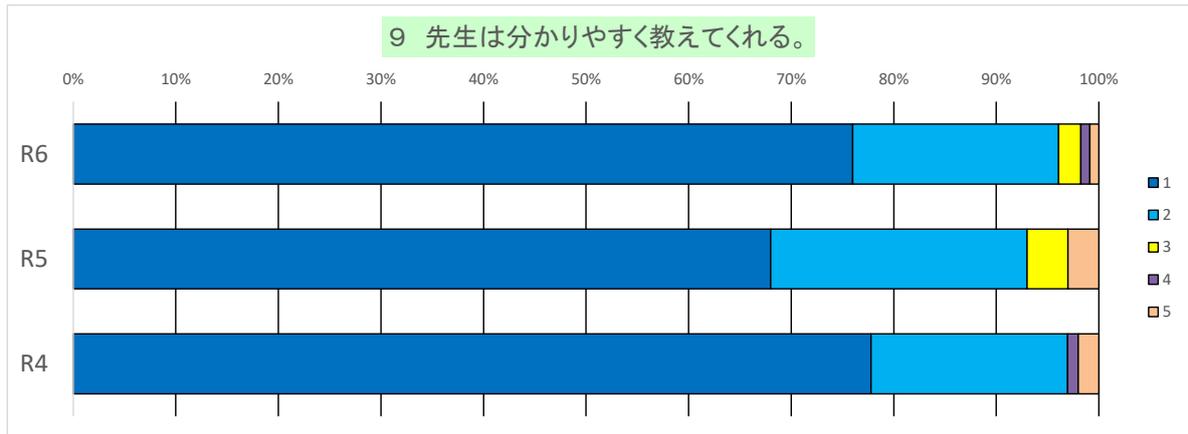
令和6年度 学校評価アンケートまとめ 児童3年間比較



令和6年度 学校評価アンケートまとめ 児童3年間比較

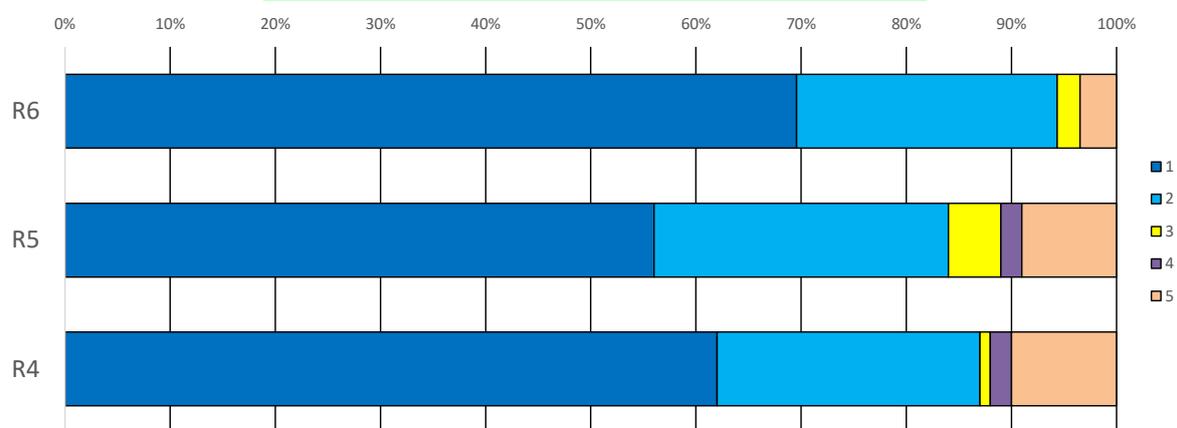


令和6年度 学校評価アンケートまとめ 児童3年間比較

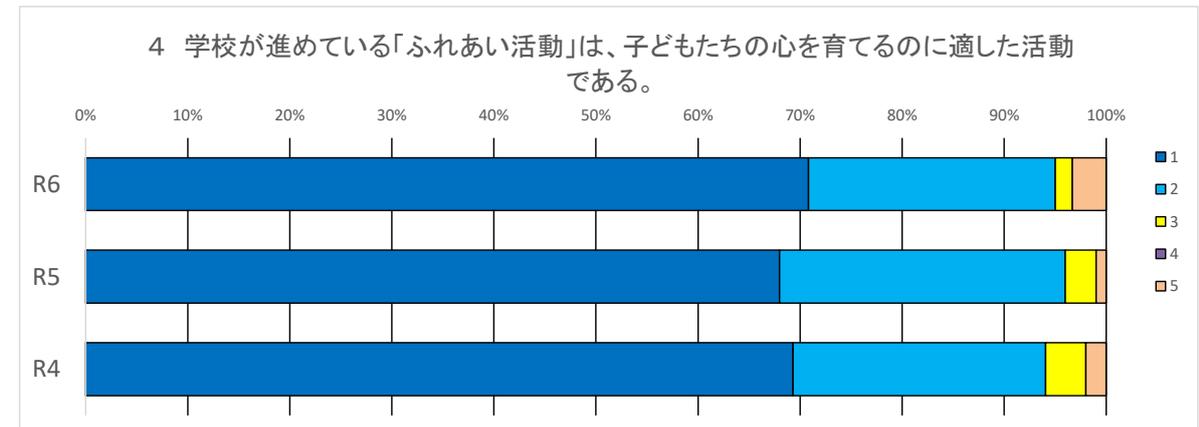
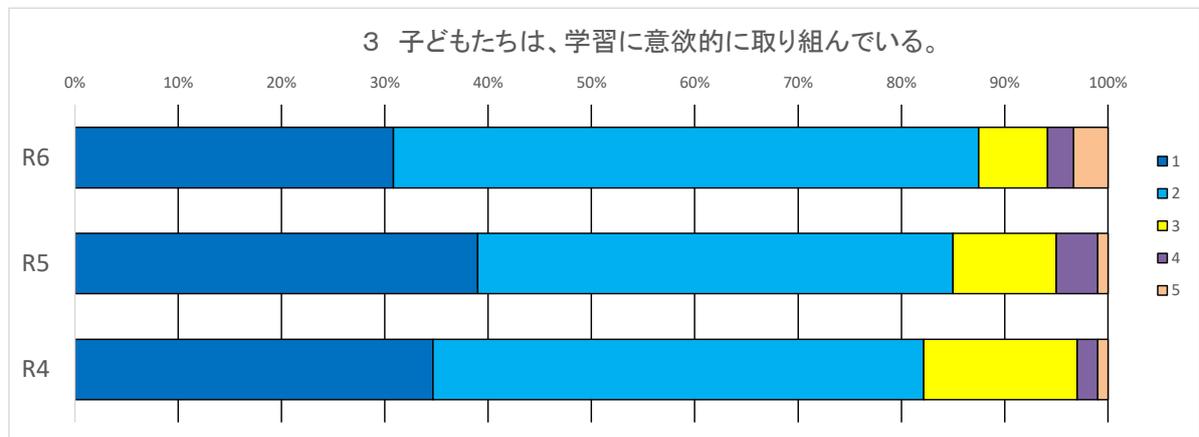
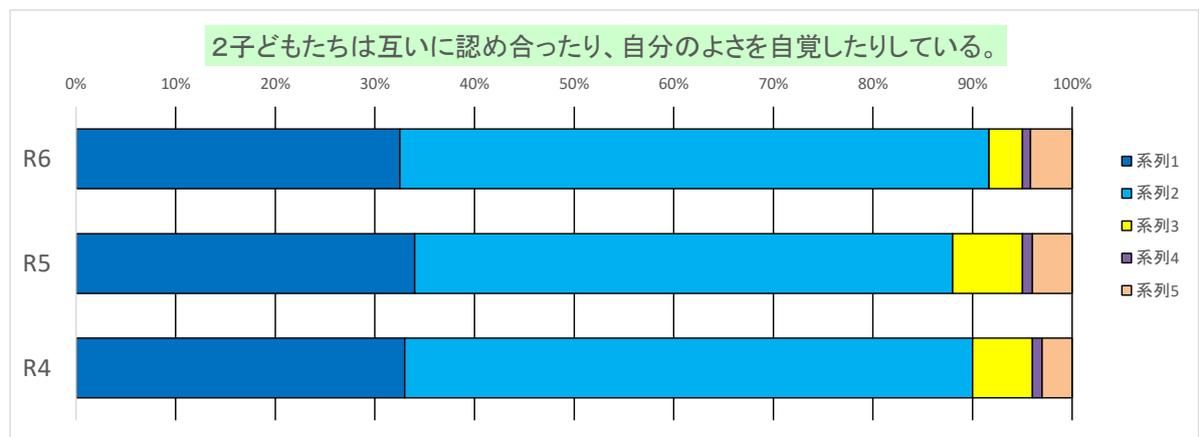
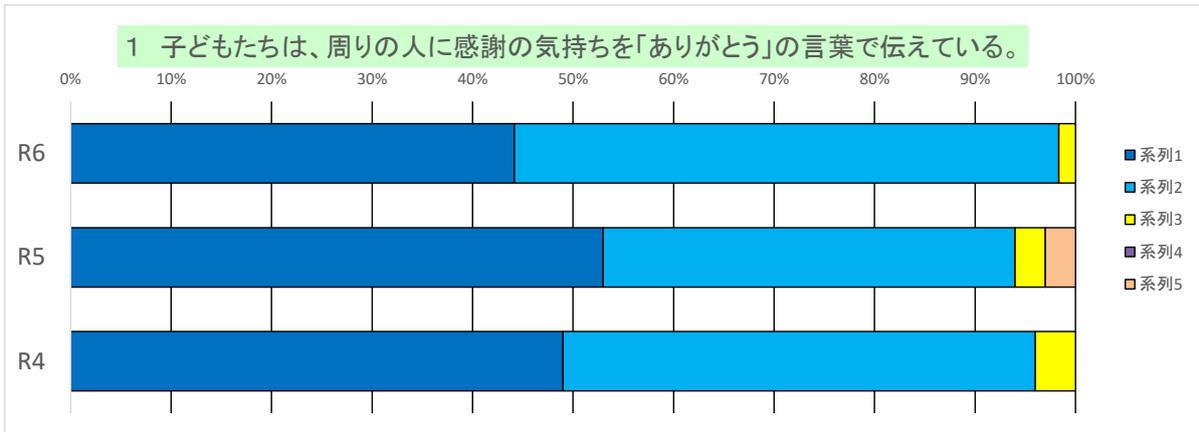


令和6年度 学校評価アンケートまとめ 児童3年間比較

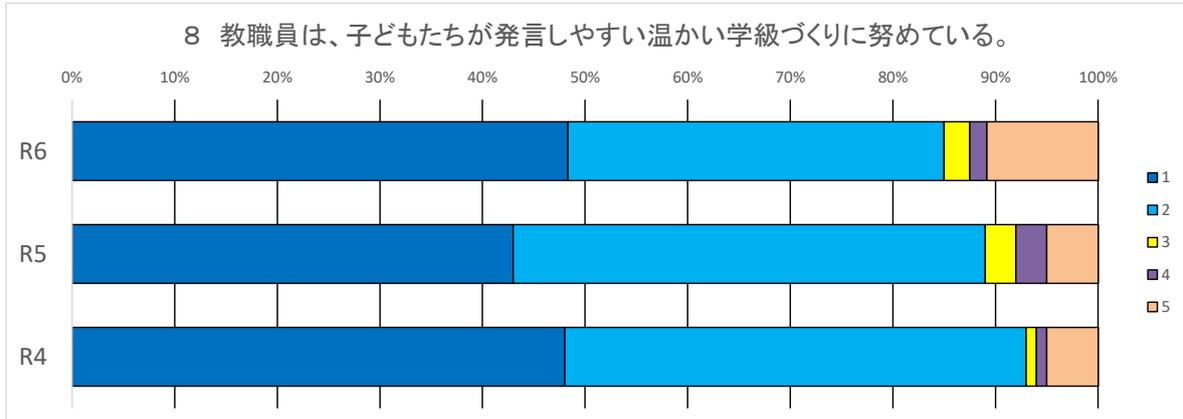
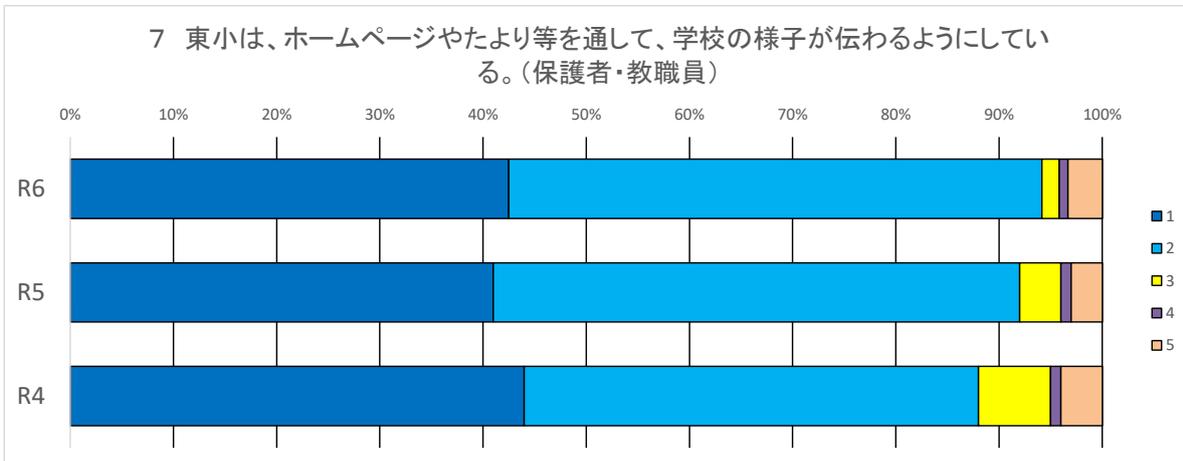
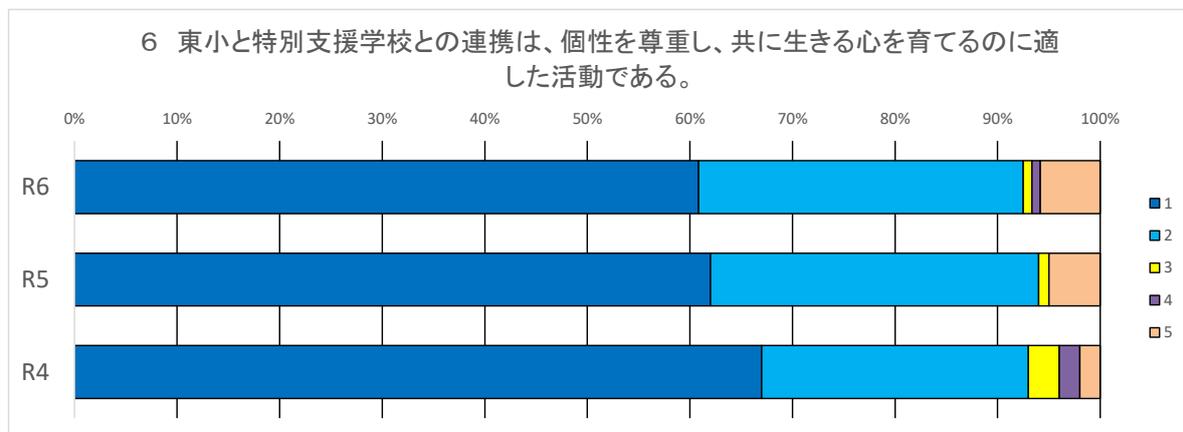
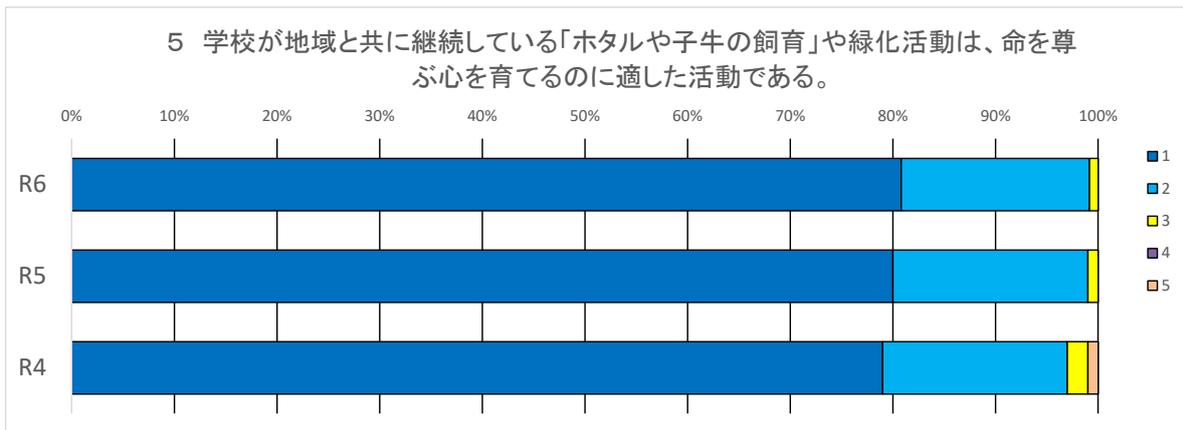
13 先生は、自分のよいところを認めてくれていると思う。



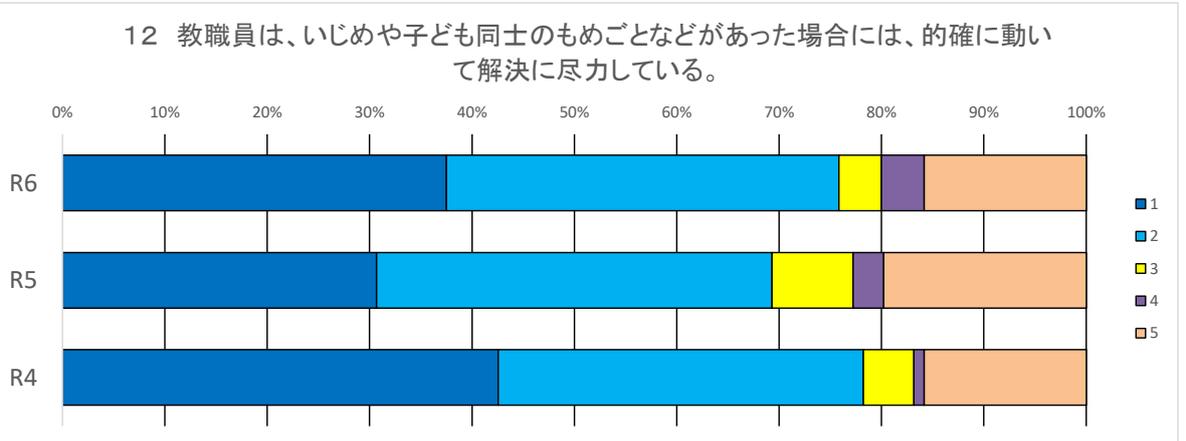
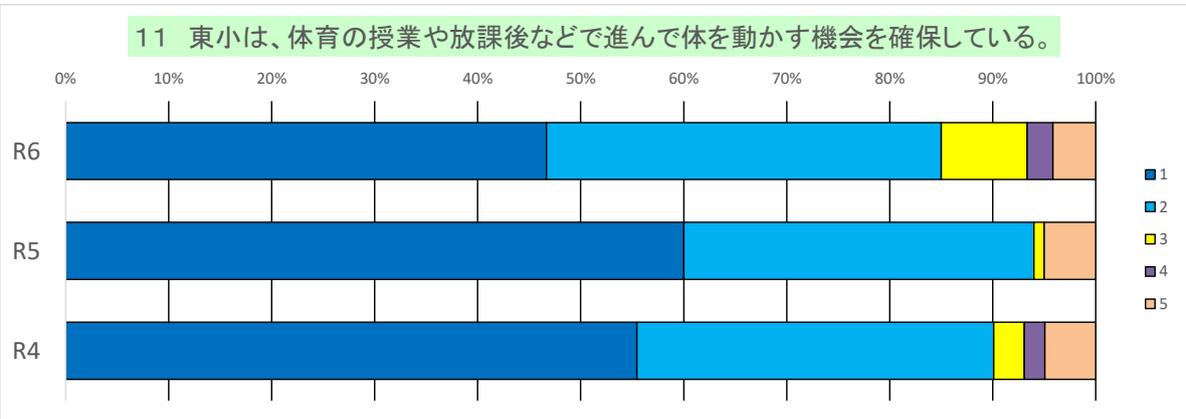
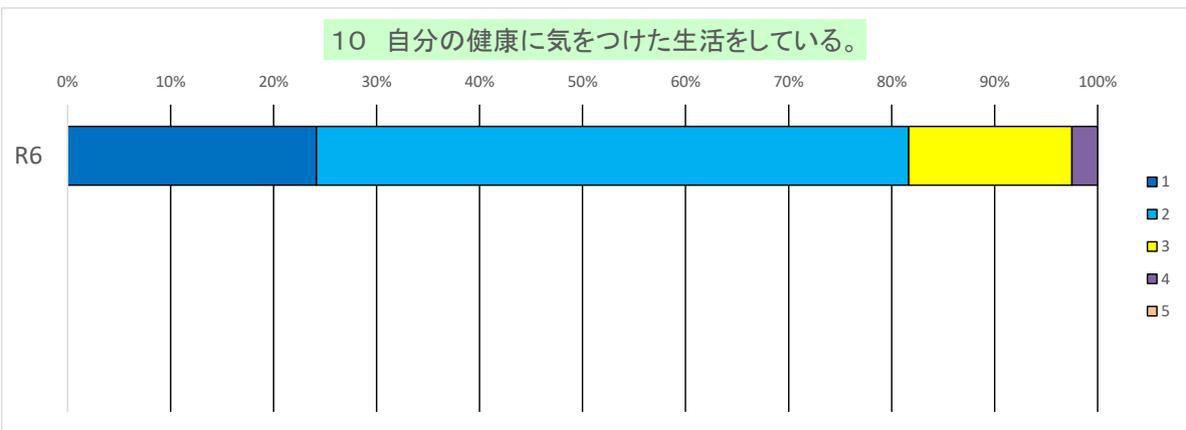
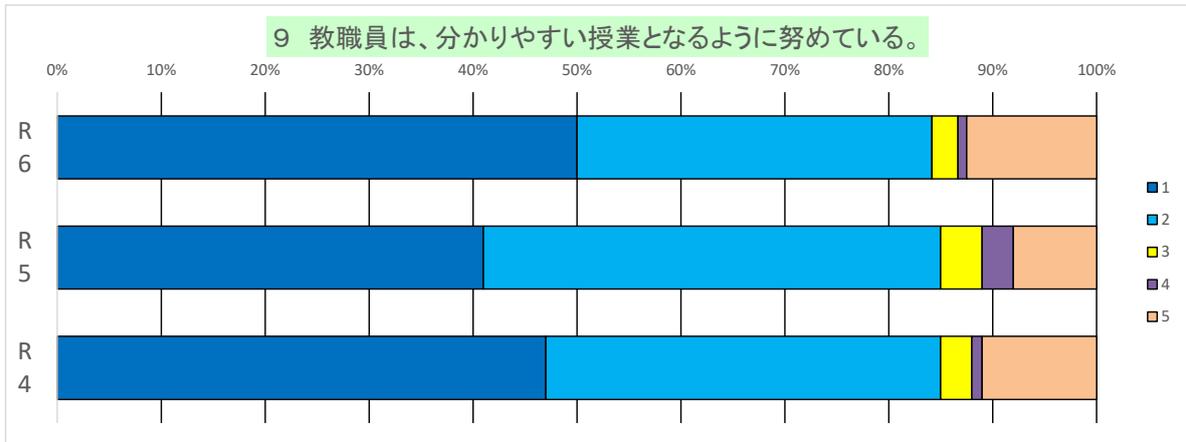
令和6年度 学校評価アンケートまとめ 保護者3年間比較



令和6年度 学校評価アンケートまとめ 保護者3年間比較

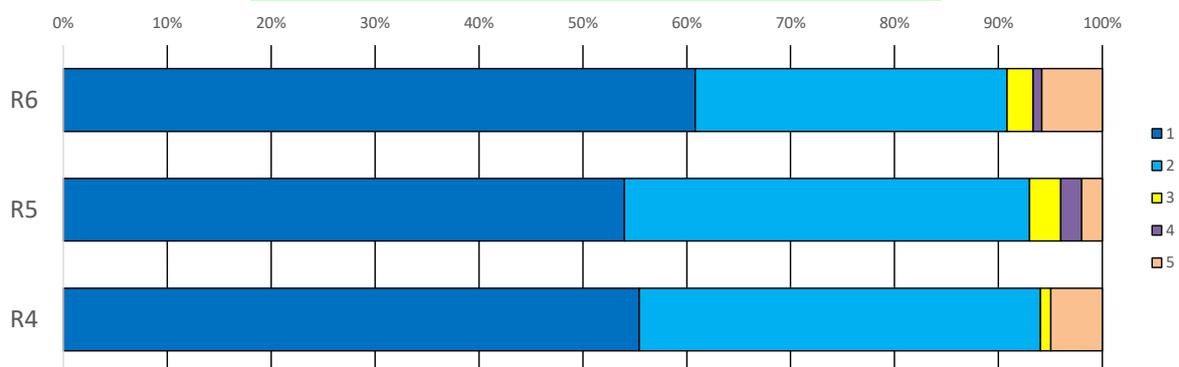


令和6年度 学校評価アンケートまとめ 保護者3年間比較

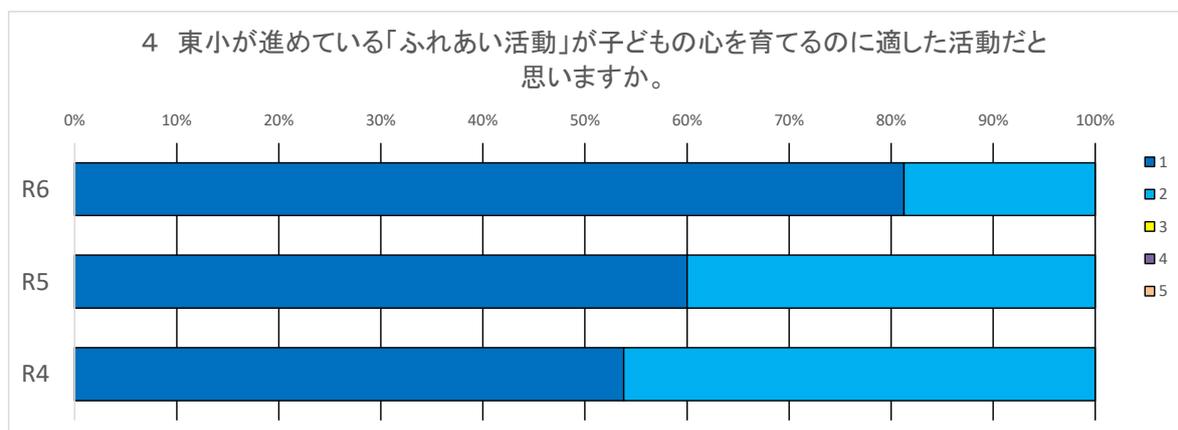
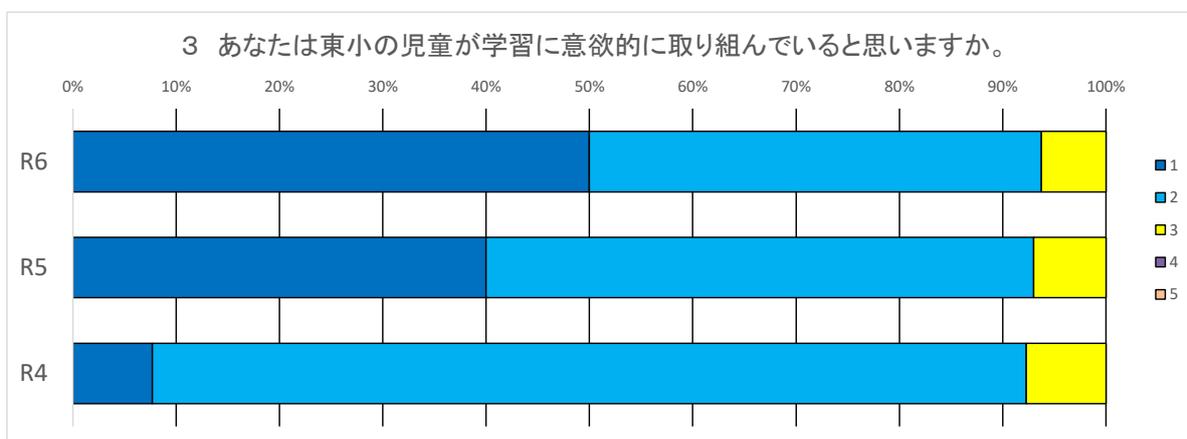
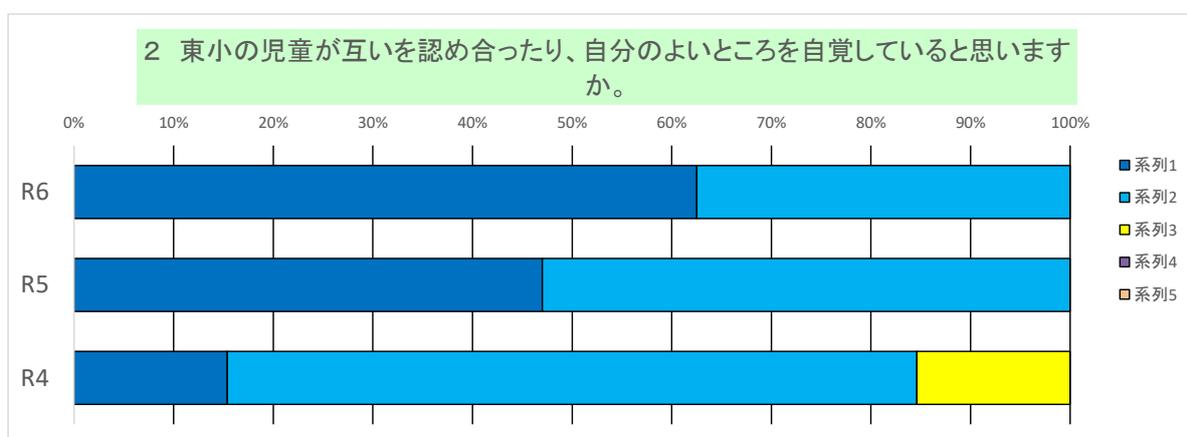
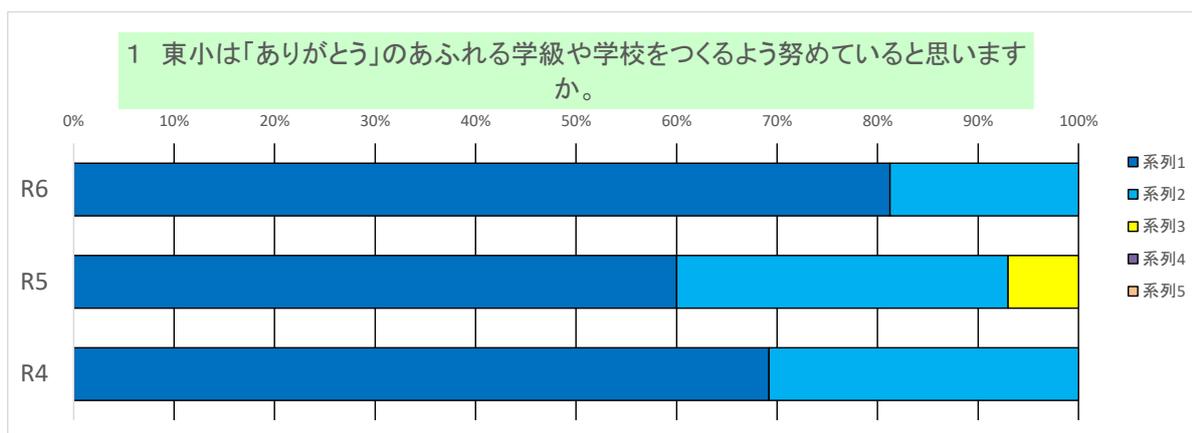


令和6年度 学校評価アンケートまとめ 保護者3年間比較

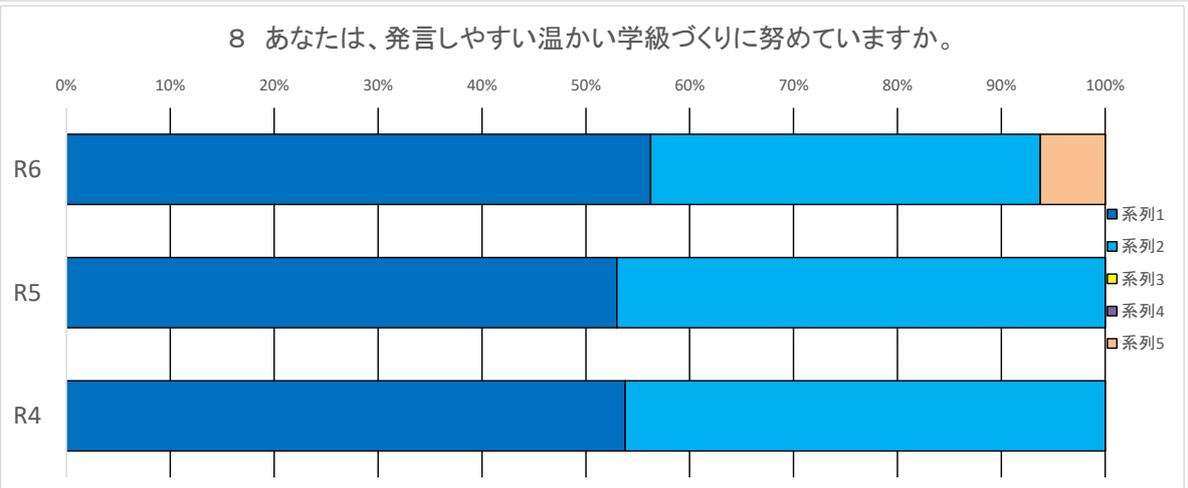
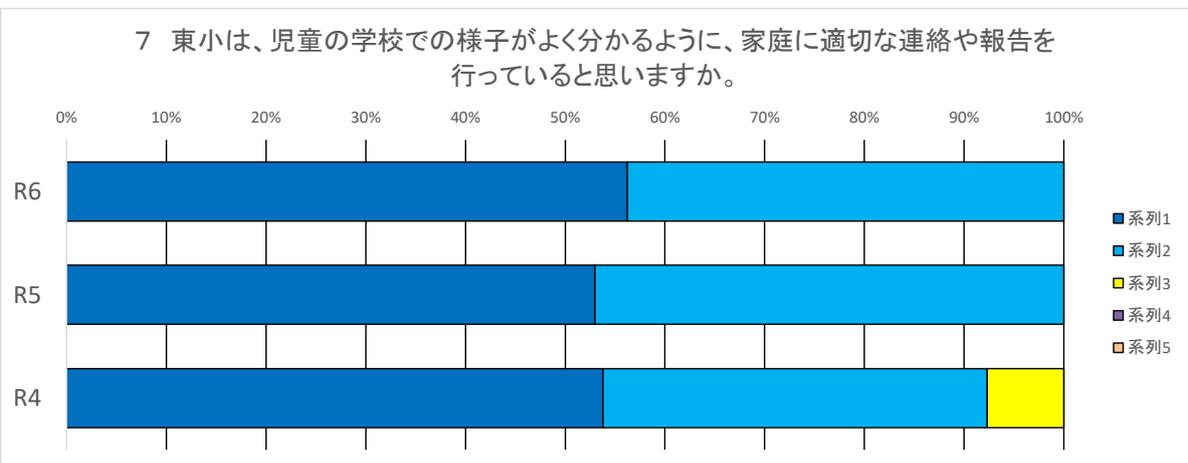
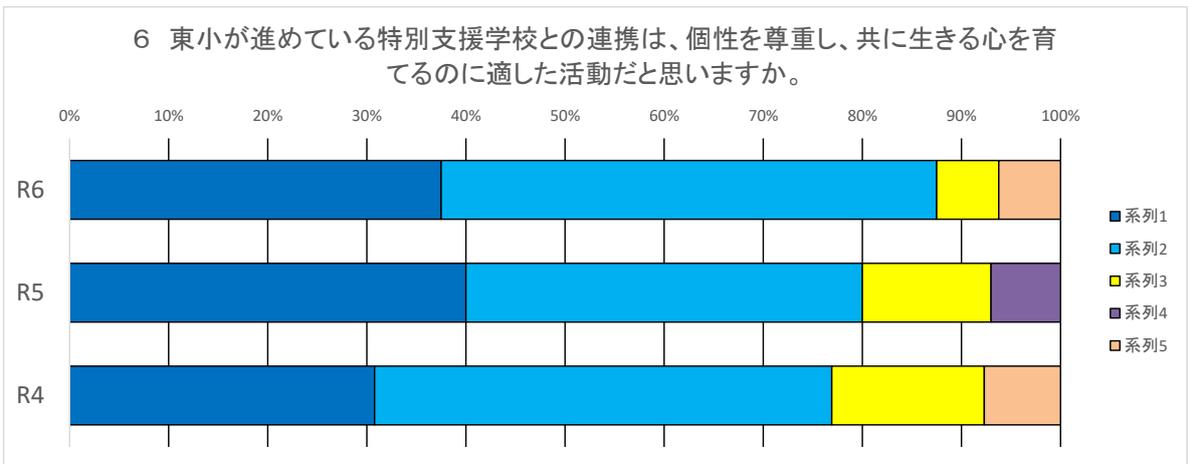
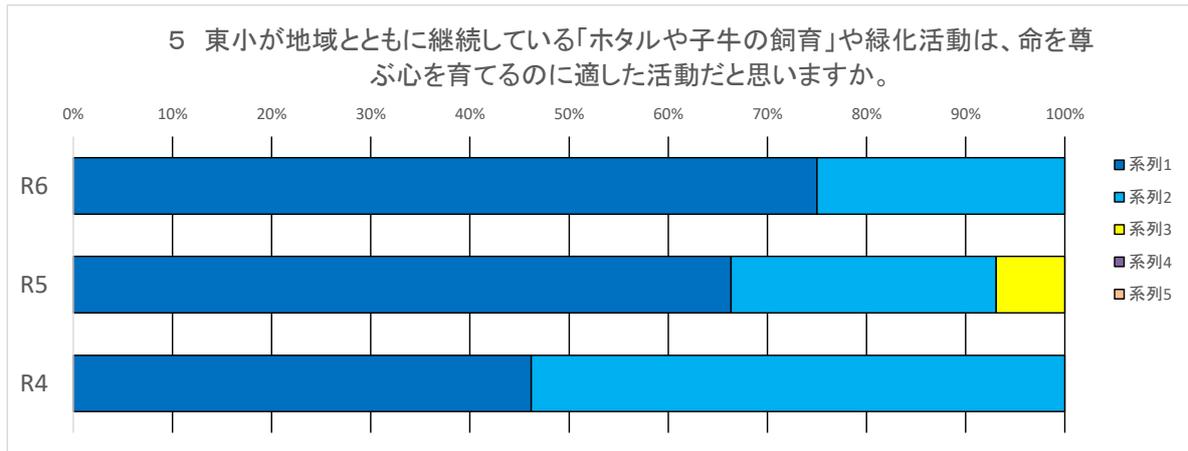
13 教職員は、子どもたちのよいところを認めてくれている。



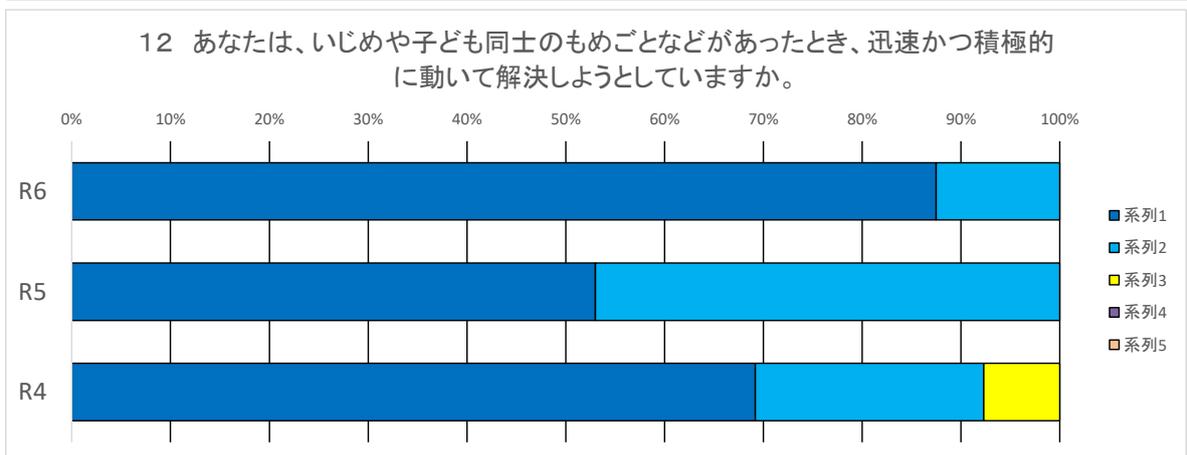
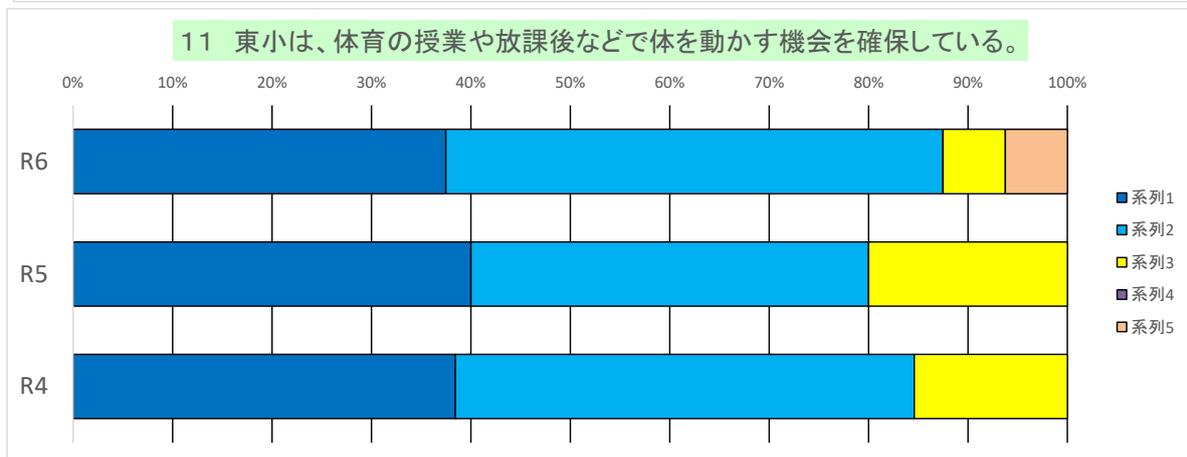
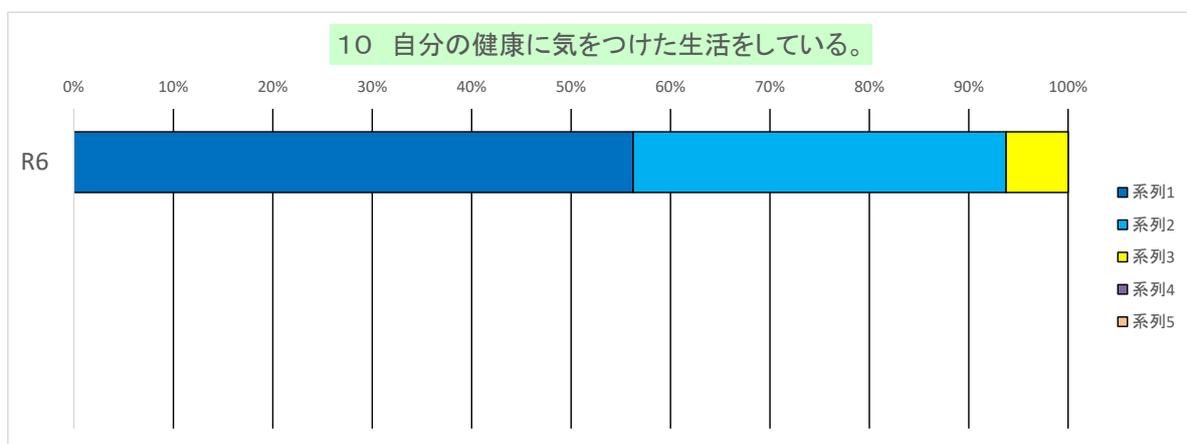
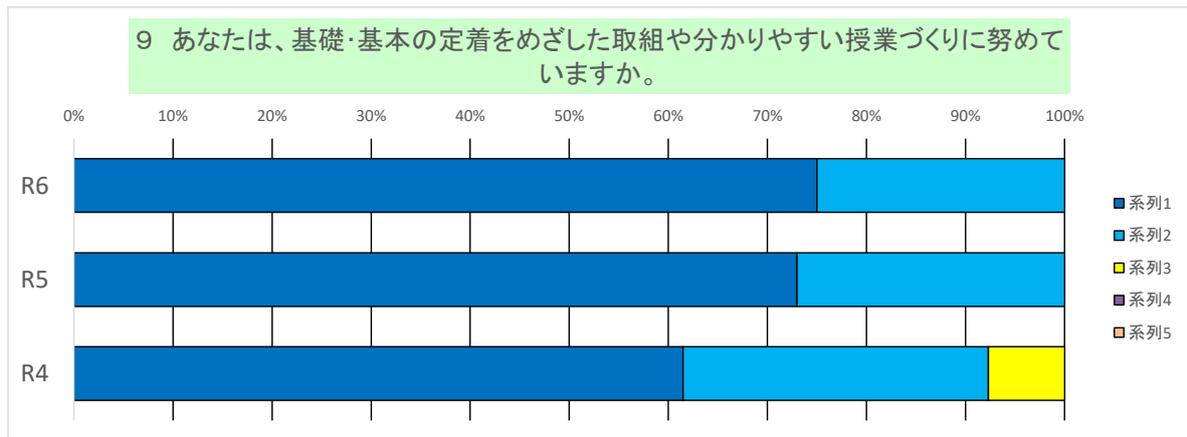
令和6年度 学校評価アンケートまとめ 教職員3年間比較



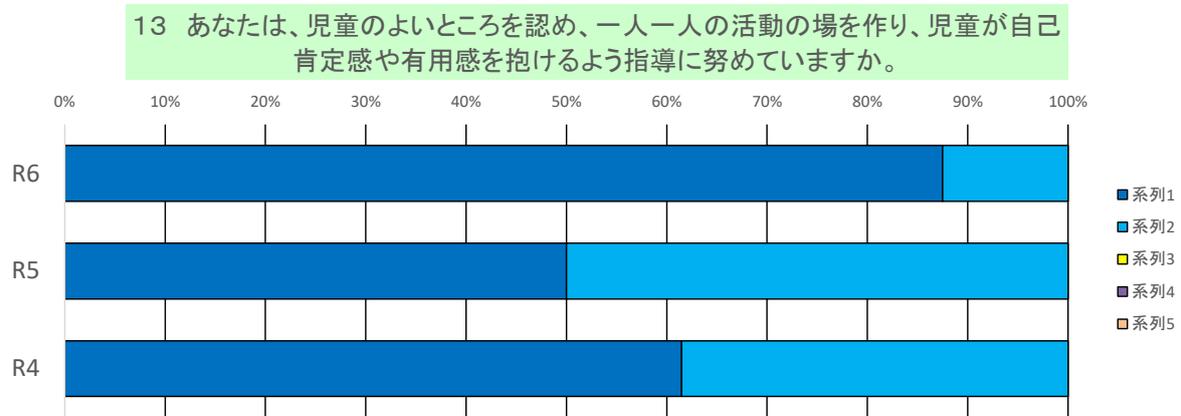
令和6年度 学校評価アンケートまとめ 教職員3年間比較



令和6年度 学校評価アンケートまとめ 教職員3年間比較



令和6年度 学校評価アンケートまとめ 教職員3年間比較



令和6年度学校評価アンケートの結果から

(1) 児童の結果から

本校の課題の一つであった、質問項目②「自分にはよいところがある」の1（そう思う）2（まあまあそう思う）が、5年度の79%から89%に向上した〔資料 P7〕。質問項目①の「周りの人に『ありがとう』を伝えている」の1（そう思う）の値も年々向上している〔資料 P7〕ことから、まずは「ありがとう」を伝え合うことで、子どもたちが自信をもてるように努め、その上で自己肯定感、自己有用感を高める取組を継続してきたことで、成果が出たと考えられる。

(2) 保護者の結果から

質問項目⑧「教職員は、子どもたちが発言しやすい温かい学級づくりに努めている」の1（そう思う）2（まあまあそう思う）が85%という結果である〔資料 P12〕。4、5年度と比較すると低くなっている。児童アンケートを見ると、92%の子どもたちが1（そう思う）2（まあまあそう思う）と答えている。今後は、このことを本校の課題の一つと捉えて改善を目指していくとともに、11%の保護者が5（分からない）と答えていることから、学校での様子を保護者に伝えることを続け、学校での様子が家庭で話題になるように努めていく必要があると考える。

(3) 教職員の結果から

どの質問項目に対しても、1（そう思う）2（まあまあそう思う）の値が高く、教職員が前向きに教育活動に取り組んでいることが分かる。ただ、問3, 6, 7, 8, 11のように、1（そう思う）の値がまだまだ低い項目もあるため、教職員がより自信をもって教育活動に取り組んでいけるよう支えていく必要があると考える。